

箱根・明神ヶ岳山行報告

【山行日】 2017年5月13日(土)~14日(日)

【天気】 13日 雨、14日 曇り時々晴れ

【メンバー】 CL 島田、SL 小川、阿部正、阿部よ、大町、梶内、清水カ、清水敬、仙石
前沢、三塚、横田(計12名)

【参加費】男性及び一部の女性 5,500 円、女性 4,500 円(交通費別)

【コースタイム】

5/13 小山 5:04====小田原====強羅+++早雲山+++桃源台====仙石原——双輪荘 13:40

5/14 双輪荘 8:20——コンビニ 8:40——登山口 9:10——うぐいす茶屋 9:35——

火打石岳分岐 11:10——明神ヶ岳 12:15/昼食/13:00——神明水 14:00——

最乗寺バス停 15:30====大雄山====小田原====小山

(歩行距離 13.6km、移動時間 5h、登り 716m、下り 1,069m)

【一日目】

朝、館林駅5時の始発電車で久喜に向かい、宇都宮線に乗り換え、本隊と合流する。生憎の雨模様のため、今日の山行は中止とし、小田原より箱根登山鉄道、ケーブルカー、ロープウェイを利用し芦ノ湖畔の桃源台を目指した。途中の大涌谷で悪天候の中、傘を差して外へ出るが、強風とガスで何も見えず、残念な状態であった。桃源台のレストランで昼食を取り、バスに乗って宿近くのバス停まで行く。途中のスーパーで買い出しをしてから歩いて宿へ。その後長時間に渡り、参加会員相互の交流を深め就寝となった。

【二日目】

天気が回復したため山行の予定を変更し、昨日予定していたルートを進むことになった。登山口近くのコンビニで昼食を買い出し登山開始。矢倉沢峠のうぐいす茶屋までは、金時山への登山ルートといっしょである。峠から西と東に分かれるので、東のルートを進む。背の高い篠竹が刈られた登山道を歩き、少しずつ高度を稼ぐ。途中で振り返ると金時山の左に、雪をまとった富士山の頂上部分が見えた。その後、登り下りを繰り返しながら高度を稼ぐ。ガスの中でまったく視界が得られない所に、明神ヶ岳の標識が立っていた。かなりの人が昼食を取っていたため、空いている場所に各自シートを広げ昼食タイムとなった。

下山は最乗寺を目指して長い登山道をひたすら下る。途中いくつか登山道が掘れて滑りやすい土の部分もあったが慎重に下り、全員無事に最乗寺下のバス停にたどり着いた。バスと電車を乗り継ぎ、午後9時前に帰宅となった。

【感想】

二日間歩く予定でいたが雨のため歩行は一日となってしまったけれど、久々に長い距離を歩いた感じがあった。参加人員が12名と大所帯の山行であったが、リーダーの適切な先導により、地図上のルートタイムを気にせず山を楽しむことができた。さらに、思ったより花の種類が豊富であったことが、ちょっと意外な感じがした。下りで、サンコウチョウの鳴き声を聞くことができたが、残念ながら姿を見ることはできなかった。

リーダーを始め、参加者みなさまに、大変お世話になりました。

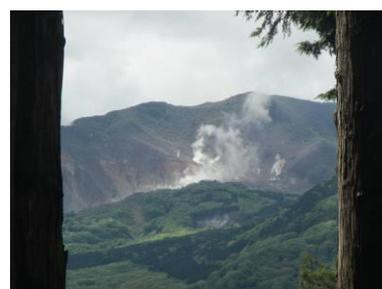
(小川 記)



登山口



登ってます



大涌谷



金時山



富士山の山頂



新緑の中



一列で歩いています



明神ヶ岳



山頂にて



下ります



神明水



登山道の脇を下ります

